

熊本矯正歯科研究会

NEWS LETTER

平成 29 年度（春季）

事務局：きょうごく矯正歯科・小児歯科クリニック内
〒862-0963 熊本市南区出仲間
TEL 096-334-6055 FAX 096-334-6057



熊本矯正歯科研究会 創立 10 周年記念祝賀会 (H28. 11. 26 日航ホテル)

会長挨拶

熊本矯正歯科研究会会長 やまべ矯正歯科クリニック 山部耕一郎



今年も早3月となり、桜の開花が待ち遠しい季節になりました。この原稿を書いている時点で、あと3週間と少しで未曾有の熊本地震から1年を迎えます。混乱のあの日から、まだまだ復興の道半ばですが、先生方におかれましては日々の診療を通してご活躍される毎日かと拝察致します。さて、今年も例年通り、熊本矯正歯科研究会の会合を2回、予定しております。まずは6月3日の総会講演会。この講演会には、近年脚光を浴びている3Dスキャナーなどの矯正治療での活用について、松山市で矯正専門開業されている小澤 奏先生にお話ししていただく予定です。また秋には、11月4日には例会講演会を予定しています。矯正治療で留意すべき歯周組織と歯周治療との関連について、大阪でご開業の浦野 智先生にご講演いただく予定です。浦野先生は日本臨床歯周病学会の指導医です。またJIADSの理事長兼講師をされています。実はこのお二人の先生には、本来開催予定であった九州矯正歯科学会熊本大会で、ご講演していただく予定でした。臨床に役立つヒントが色々聴けるとお思いますのでご期待下さい。今期の熊本矯正研究会も2年目を迎えます。今まで池上富雄先生、伊東隆三先生が会長として築いてきた当研究会を更に盛り上げるべく、理事の先生方も奮闘されています。ご意見等ありましたら、どうぞ遠慮無くお聞かせ下さい。こんな話が聞きたい、こんな企画を立ててもらいたい等の積極的な提案は大歓迎です。よろしくお願い致します。

平成 28 年度後期の主な活動

○ 第 7～11 回理事会・常任役員会、臨時理事会

月一回のペースで常任理事による役員会を行っています。2016 年 10 月 17 日に第 7 回、12 月 5 日に第 8 回、2017 年 1 月 23 日に第 9 回、2 月 20 日に第 10 回、3 月 27 日に第 11 回理事会・常任役員会を行っております。なお、2017 年 2 月 6 日に臨時理事会を開催しております。

今年度後期の理事会主旨

- ・九州矯正歯科学会熊本支部を熊本矯正歯科研究会が兼ねている事案について検討。
- ・会則改正について。
- ・6 月の歯の祭典、夏の総会・講演会について検討。
- ・2016 年熊本地震に対して 7 月にご講演された菅原先生から頂いた義援金について検討。
- ・今後の講演会に対する会員アンケート内容について。
- ・特別講演会についての日程、ご講話を依頼する先生について。

○ 熊本矯正歯科研究会 創立 10 周年記念講演会 祝賀会 (2016 年 11 月 26 日)

熊本矯正歯科研究会創立 10 周年を記念して、熊本県民交流会館パレアにて、歴代会長の池上富雄先生および伊東隆三先生のご講演、日航ホテルにて祝賀会を開催し、延べ 114 名の先生方および関係者にご臨席いただきました。

記念講演



『熊本矯正歯科研究会十周年を迎えて』



医療法人伊東会 伊東歯科口腔病院 病院長 伊東隆三 先生
幼少期からの食育の重要性について熱くご講話いただきました。



『熊本矯正歯科研究会の草創期についてと最近の臨床から』



医療法人 熊本歯列矯正センター 池上矯正歯科クリニック 院長 池上富雄 先生
研究会として熊本矯正歯科研究会のこれまでの歴史、臨床について矯正治療の失敗症例から考えられることについてご講話いただきました。

祝賀会スナップ



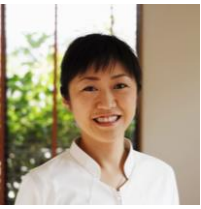
和やかなムードの中、市歯科医師会副会長（田中弥興先生）による祝辞から、中島学園校長（中島義和先生）の乾杯により、賑やかに祝賀会が開催されました。3名の新入会員（平良幸治先生・鬼塚研志先生・肘井敬一郎先生）ご挨拶後、歓談となり、熊本歯科衛生士専門学校校長（伊藤明彦先生）の万歳三唱により、盛会のうちに閉会しました。

今後の予定とお知らせ

- 平成 29 年 6 月 3 日（土）に平成 29 年度熊本矯正研究会総会・講演会を行います。懇親会も予定しておりますので、スタッフの方もお誘い合わせの上ぜひご参加ください。

講演会抄録

会員発表



『当院で行っている口唇口蓋裂の矯正治療について』

歯ならびの歯医者さん 院長 泉 朝望 先生

口唇口蓋裂は、顎顔面に形態機能異常を起こす先天疾患であり、形成外科や言語聴覚士、歯科や耳鼻科など他職種で質の高い医療を行うことが大切です。当院は平成 23 年の開設当時から熊本機能病院内にある「国際唇裂口蓋裂センター」の歯科部門を担当しています。今回は、担当として行っている、矯正歯科治療や口腔衛生管理、術前顎矯正治療や哺乳指導、顎裂腸骨移植の実施時期の検討や軟口蓋形態・咽頭形態の評価、顎切除術の管理、家族教室などについて報告させていただきます。

特別講演



『パラダイムが変わるとき、何が起こるのか？』

新しいパラダイム（治療技術）の中に身を置くために考えておくべきこと』

医療法人スマイル スマイル矯正歯科クリニック 小澤 奏 先生

1. パラダイムはいつ現れるのか？
2. 矯正学的診断資料の歴史：必要な検査資料の本質とその目的
3. 治療目標の追加：歯肉歯槽骨の新たな課題（超高齢社会の矯正歯科）
4. 自分，職場，そして社会の壁：環境変化へのスタッフ研修
5. 診療スタイルの変化：30年・変えるのに必要なこと
6. 治療結果（医療の品質管理と信頼性），治療期間の本質：歯の寿命を延ばす
7. 薬機法の厳守と責任の本質（よりよく変える姿勢）
8. まとめ

物づくり革命、新しいテクノロジーの進歩は職業のあり方や本質を考える良いきっかけになります。今回の講演の機会をいただき、山部先生より、当院の現状を報告せよとのご指令をいただきました。このような貴重な時間をいただき大変感謝いたします。

今回の講演では現在の私の職場を通じた「変化」についてお話しできればと思います。物事の変化や多くの治療器具の淘汰を目にしてきたベテランの諸先生方にお話するのは恐れ多いことではありますが、少しでもお役に立てれば幸いです。

（編集；広報担当理事 上村裕希）

熊矯ホームページは、 <http://kumakyouseiken.com/>

前年度にご講話いただいたセーブセンダイ 311 の菅原準二先生から、熊本地震に対する義援金をいただきました。これに関しては、熊本県健康福祉課を通して熊本県に寄付させていただきました。

会費未納の会員の先生方は早急に納入くださるようお願い致します。

熊本矯正研究会のニュースレターはホームページからもご覧できます。是非ご覧くださいませ。